

コンクリート構造物の品質・耐久性確保マネジメント研究小委員会 成果報告会 《東京会場》

行事コード：227041

開催日：2017年7月28日（金）

参加申込締切日：2017年7月18日（火）

コンクリート構造物の品質・耐久性確保マネジメント研究小委員会（229委員会，委員長：田村隆弘 徳山工業高等専門学校教授）は，2016年度の土木学会重点研究課題として，建設マネジメント委員会，土木情報学委員会，教育企画・人材育成委員会との連携で，1年間の活動を行いました。山口県でH19年度から運用されているコンクリート構造物のひび割れ抑制・品質確保システムと，それが発展した東北地方整備局管内の復興道路・復興支援道路等の品質確保・耐久性確保システムを，他の地域へも応用展開し，持続発展的なシステムへ総合化するために，技術規準の整備，建設マネジメントの観点からの制度・システムの議論と実践，データベースシステム・人材育成システムの構築と運用を目的としました。

本委員会が支援する形で活動期間中に整備し，講習会を実施した最新の知見を導入した規準は以下のとおりです。数百名規模の講習会を仙台（複数回），久慈，釜石，福島，前橋，山口，東京等で重ね，社会実装を土木学会として支援，後押しをしました。ひび割れ抑制のための参考資料（案）の策定に際しては，設計，施工，検査，工事成績評定，コスト等にまたがる建設マネジメントの観点で，委員会のこれまでの主たる領域を拡大しつつ，議論を重ねました。さらに，全国展開の次の一手として，同様のシステムを熊本への復興に応用する準備を行いました。これらの手引き類の多くは，委員会報告書の巻末資料に含めました。品質確保・耐久性確保を推進していく上でのマネジメント的課題についての座談会も開催し，原稿を報告書に収めてあります。

- ・コンクリート構造物の品質確保の手引き（案）（橋脚、橋台、函渠、擁壁編）（東北地整）
- ・コンクリート構造物の品質確保の手引き（案）（トンネル覆工コンクリート編）（同上）
- ・ひび割れ抑制のための参考資料（案）（橋脚、橋台、函渠、擁壁編）（同上）
- ・東北地方における凍害対策に関する参考資料（案）（同上）
- ・凍結抑制剤散布下におけるRC床版の耐久性確保の手引き（案）（SIP）
- ・コンクリート構造物品質確保ガイド2017（山口県）

さらに，コンクリート構造物の高耐久化のためのフライアッシュ，高炉スラグ微粉末の有効利用の状況とマネジメント的課題について各地域の状況を調査し，報告書にまとめました。

この度，229委員会の終了にあたり，成果報告会を開催いたします。奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。なお，講習会プログラムを一部変更する場合もございます。

すので、予めご了承ください。

・主 催

土木学会コンクリート委員会（担当：コンクリート構造物の品質・耐久性確保マネジメント研究小委員会（229 委員会））

・日 時

2017 年 7 月 28 日（金） 13 時半～17 時半（予定）

・場 所

エッサム神田ホール 2 号館 301 室（〒101-0047 東京都千代田区内神田 3-24-5  
TEL:03-3254-8787）

・定 員

175 名

・参加費

正会員 8000 円\*、非会員 12000 円\*、学生 4000 円（テキスト代含む）  
（\* 吉田博士記念基金への寄付金 500 円を含む）

申込方法

土木学会ホームページ（<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>）から、または学会誌綴込みの「本部行事参加申込書」に所定事項（特に行事コード番号）を明記のうえ、研究事業課宛 FAX にてお申込みください。申込書到着後、10 日前後にて折り返し「参加券」をお送りいたします。

※申込みに関してお願い

(1)申込締切日前に定員に達した場合についてはご了承ください。なお、締切日以降の事前受付はいたしません。ただし、定員に余裕がある場合のみ、行事当日に会場にて受付いたします。

(2)お申込み後、やむを得ずキャンセルされる場合は、必ず開催日の 1 週間前までに研究事業課宛ご連絡ください。ご連絡がない場合は、参加費を徴収させていただきますのでご了承ください。

(3)申込みをされる前にご送金いただくことはトラブルの原因となりますので固くお断りいたします。

・ 申込締切

2017年7月18日（火）【必着】

・問合せ先

公益社団法人 土木学会コンクリート委員会（事務局担当：小川）

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目

TEL 03-3355-3559／FAX 03-5379-0125

・プログラム（予定）

13：30～13：40 委員長開会挨拶，趣旨説明

13：40～14：30 東北復興道路の品質確保・耐久性確保システムの構築・実践と課題

14：30～15：00 山口県の品質確保システムの現状と課題

15：00～15：10 休憩

15：10～15：50 各地域での取組み

（群馬県，沖縄県，新潟県，九州地方整備局，熊本県，JR 西日本）

15：50～16：40 コンクリート構造物の高耐久化のための

フライアッシュ，高炉スラグの有効活用の状況とマネジメント的課題

16：40～16：50 休憩

16：50～17：20 品質確保・耐久性確保を推進していく上でのマネジメント的課題

17：20～17：30 閉会挨拶

※プログラムは変更になる場合がございますが、御了承下さい。